「少年の主張」・中学生話し方大会２０２４

第４６回「少年の主張」広島県大会開催要領
第５８回中学生話し方広島大会開催要領

１　趣　　旨　　国際化、情報化が急速に進み、環境が目まぐるしく変化する現代社会において、次代を担う子供たちには、論理的に物事を考える力、自分の主張を正しく伝える力、広い視野と柔軟な発想や創造性などを身につけることが求められている。

　この大会は、中学生が話すことによって伝える力を育み、学び合う機会となるとともに、意見発表を通して、中学生への理解と認識を深めてもらうことをねらいとする。

２　対　　象　　広島県内の中学生

３　主　　催　　公益社団法人青少年育成広島県民会議、広島県中学校話し方連盟
独立行政法人国立青少年教育振興機構

４　協　　賛　　国際ソロプチミスト広島、広島清流ライオンズクラブ、
公益財団法人広島青少年文化センター

５　後　　援　　広島県、広島県教育委員会、広島市、広島市教育委員会、広島県公立中学校長会、
広島県私立中学高等学校協会校長会、中国新聞社、ＮＨＫ広島放送局、中国放送、
広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送

６　開催日時　　令和６年９月７日（土）　１０：００～１４：３０

７　日　　程

９：30 ～ 10：00	受付
10：00 ～ 10：15	開会行事
10：15 ～ 12：30	発表
12：30 ～ 13：30	昼食 「少年の主張」全国大会のＤＶＤ上映
13：30 ～ 14：30	審査発表、表彰、閉会行事

８　開催場所　　広島県社会福祉会館　２階　講堂
（広島市南区比治山本町１２－２）

（注）諸事情によっては、日程及び運営等を変更する場合があります。

９　発表内容　　次のＡ、Ｂ、Ｃの中から、日ごろ心に思っていること、考えたことや感銘を受けたことなどを、自由でユニークな発想と、飾り気のない言葉でまとめたもの。

なお、未発表、自作のものに限ります。

また、商業的な固有名詞の使用は極力避けるようにしてください。

Ａ　社会や世界に向けての意見、未来への希望や提案など。

Ｂ　家庭、学校生活、社会（地域活動）または、身の回りや友だちとの関わりなど。

Ｃ　テレビや新聞などで報道されている社会の様々な出来事に対する意見や感想、提言など。

10　発　　表　　小道具は、使用しない。

発表時間は５分程度（400字詰め原稿用紙４枚程度）

ただし、６分を超えるものは審査対象外となりますので、ご注意ください。

11　応募方法　　申込書に原稿を添えて、中学校長を経由して提出する（原稿は返却しない）。

ただし、市町、青少年育成市町民会議等の類似の大会で入賞した中学生の応募も可とする。

この場合、市町等においてその旨を付記して、市町等から提出するものとする。

原稿は原則**４００字詰原稿用紙（Ａ４判縦書き）を使用する**こと。（学校等で使用されるＢ４判縦書きも可とする。）

生成AI等を利用して作文の原案を作成したり、自作の作文を推こうするなどということは行わないこと。

12　申込締切　　**令和６年８月２日（金）必着**

13　事前選考　　提出された原稿を主催者において審査し、大会出場者を決定する。なお、大会の出場資格を得た者については、各中学校長等あてに８月中旬に通知する。

14　審　　査　　審査は、学識経験者、マスコミ関係者、関係行政機関の職員、（公社）青少年育成広島県民会議及び広島県中学校話し方連盟並びに協賛団体の代表者によって構成する審査会で行う。

15　表　　彰　　広島県知事賞、（公社）青少年育成広島県民会議会長賞、広島県中学校話し方連盟会長賞、国際ソロプチミスト広島会長賞、広島清流ライオンズクラブ会長賞（各１名）、優秀賞（若干名）及び優良賞を選考し賞状を贈る。

16　副　　賞　　この大会で、広島県知事賞、（公社）青少年育成広島県民会議会長賞、広島県中学校話し方連盟会長賞、広島清流ライオンズクラブ会長賞、国際ソロプチミスト広島会長賞を受賞した５名には、副賞として海外研修が（公財）広島青少年文化センターから授与される。

時　期：令和７年夏休期間の５日間（予定）

訪問先：大韓民国（予定）

17　そ の 他　　この大会で、広島県知事賞を受賞した者を、独立行政法人国立青少年教育振興機構主催の「少年の主張」全国大会（１１月２４日（日）東京で開催）への出場候補者として推薦する。

18　問い合わせ先　　公益社団法人青少年育成広島県民会議「少年の主張」係

申込み先　　〒730-8511　広島市中区基町10-52（広島県環境県民局県民活動課内）

電話０８２－５１３－２７４２　ﾌｧｸｽ０８２－５１１－２１７３